

科目名	地理学概論 I	
担当者	岩船 昌起 / IWAFUNE, Masaki	
科目情報	人間文化<歴史地理> / 必修 / 前期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	地理学は、「土地を描く」科学を意味し、自然から人間・社会までの広い事象を研究対象とする。本講義では、その一分野である自然地理学を取り上げ、自然環境を構成する諸要素（地形・植生・気候・土壌等）の相互関連に重点を置きながら、自然地理学の視点と本質的な考え方を解説する。
	到達目標	①自然地理学の視点と本質的な考え方を論述できる。②自然地理学の諸分野および隣接分野との関連を論述できる。③自然環境の構成要素の相互関連を論述できる。
授業計画	(1) ガイダンス：授業の概要と成績評価の方法等 (2) 火山：プレートテクトニクスと火山活動 (3) 山地：地殻変動と風化 (4) 河川：侵食作用と上流・中流・下流の地形 (5) 森林：植生にかかわる気候と地形 (6) 台地：関東平野の地形 (7) 丘陵：微地形と植生の分布 (8) 平野：沖積作用と海面変化 (9) 海岸：砂浜と磯、干潟とマングローブ (10) 湖沼：火口湖と海潟湖 (11) 降雨：集中豪雨をもたらす梅雨前線と台風 (12) 風系：季節風と海陸風 (13) 自然地理学についての総説 (14) 九州の自然環境の概要 (15) 総まとめ ※ 講義の進展に応じて、内容が加除修正される。	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・授業で紹介された本や論文等を読むこと。 ・博物館や史跡・名勝等を訪ね、現地で考えること。
使用教材・参考文献	【教】 杉谷隆・平井幸弘・松本淳『風景の中の自然地理 改訂版』2005年（税別）、古今書院、ISBN4-7722-7017-5 C3025。 【参】 毎回の資料にて参考文献等を紹介する。	
成績評価方法と基準	<方法> テスト50%，巡検レポート25%，小テスト25%を目安とする。 <基準> テストおよび小テストは、「到達目標」を基準として採点する。巡検レポートに関しては、授業中に説明する。	
備考	野外での授業（巡検）を実施する。巡検に参加できない受講者のためには、別の課題を設ける。 なお、本講義は地歴などの教職必修科目であるので、相対的に難易度が高い。	